

## 北海道大学病院で手術支援ロボットを用いた 腹腔鏡下胃切除術を保険診療にて開始

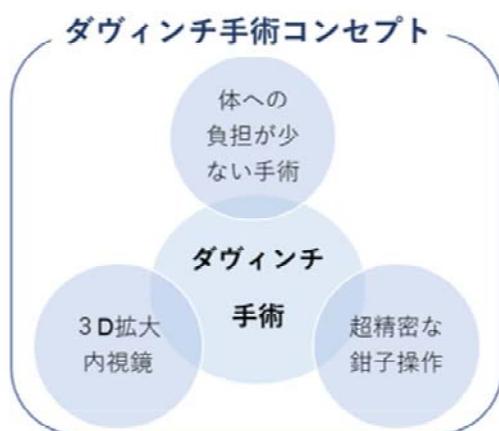
### 【ポイント】

- ・胃癌に対する保険診療によるda Vinci Surgical System（手術支援ロボット）を用いた手術治療が、2018年4月より北海道大学病院消化器外科IIで開始。
- ・da Vinci Surgical Systemを用いることにより、胃癌に対する確実で安全なリンパ節郭清と消化管再建が実施できる。その結果、術後合併症（膵液瘻による腹腔内膿瘍、縫合不全等）を回避でき、より根治性の高いリンパ節郭清が可能となる。

### 【da Vinci Surgical System の特徴】

- ・10～15倍の拡大視効果を有する三次元画像下での手術が可能。
- ・鉗子の先端部に関節機能がついており、自由な鉗子操作が可能。

## da Vinci Surgical Systemを用いたロボット支援腹腔鏡下胃切除術



### ダヴィンチ手術の特徴

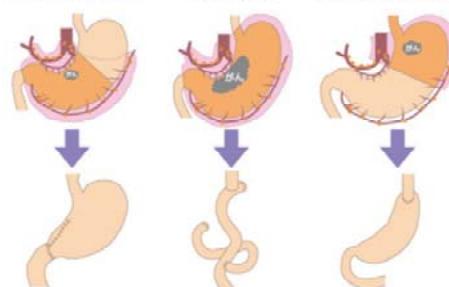


- ①10-15倍の拡大視効果を有する三次元画像下での手術
- ②関節機能がついており自由な鉗子操作
- ③モーションスケールリング機能による繊細な鉗子操作

### ロボット支援腹腔鏡下胃切除術

・ロボット支援腹腔鏡下胃切除術326例を対象とした臨床試験において術後合併症が2.45%であり、従来の腹腔鏡下胃切除術における術後合併症(6.4%)に比べ優位性が示された(P=0.0018)。本結果を踏まえ、2018年4月より全ての胃切除術式が保険収載された。北海道大学病院が施設認定を取得し、ロボット支援腹腔鏡下胃切除術を保険診療で開始した。

幽門側胃切除術 胃全摘術 噴門側胃切除術



## 【背景】

2009年11月に内視鏡手術支援ロボット da Vinci S Surgical System (Intuitive Surgical, Inc., Sunnyvale, CA, USA) が本邦において薬事承認され、2012年4月から前立腺全摘術に対するロボット加算が保険収載されました。北海道大学病院においても2013年4月より da Vinci Surgical System が導入され、現在、主に泌尿器科領域において臨床稼働しています。

胃癌に対する先進医療として da Vinci Surgical System を用いた胃切除術が実施された結果、従来の腹腔鏡下手術より術後合併症の減少が証明され、2018年4月より保険診療で行えることになりました。ロボット支援腹腔鏡下胃切除術を保険診療で行うに際して様々な施設基準があり、今回、北海道大学病院が認定施設となりました。

## 【手術方法】

腹腔鏡は、お腹の中（腹腔）を直接観察する直径1cm程の内視鏡のことです。

腹腔鏡下胃切除術とは、お腹を炭酸ガスでふくらませてから腹腔鏡を挿入して腹腔内の様子をテレビモニターに映して観察し、さらに小さな傷を何個かつけて穴を開け、腹腔鏡用の手術道具（鉗子）を使い胃切除する手術です。ロボット支援腹腔鏡下胃切除術では、腹腔鏡ならびに鉗子をロボットアームに固定し、外科医がコンソール内で操作を行います。



### お問い合わせ先

北海道大学大学院医学研究院 消化器外科学教室Ⅱ 特任講師 海老原 裕麿（えびはら ゆうま）

T E L 011-706-7714 F A X 011-706-7158 メール yuma-ebi@wc4.so-net.ne.jp

### 配信元

北海道大学病院総務課広報・国際企画係（〒060-8648 札幌市北区北14条西5丁目）

T E L 011-706-7631 F A X 011-706-7627 メール pr\_office@huhp.hokudai.ac.jp